



・住民と治水ということをご大事にするべきで、具体的には、住民による水防だと思えます。最も住民の顔が見える治水の側面だと思えます。自分たちの地域は自分たちの安全として守る、というように地域住民が積極的に安全に関わる姿勢が、人と川との関わりで重要になってくると思えます。住民の避難行動を見ているときに、行政の過保護な状態が問題点であると思えます。行政も頑張り、住民も地域の安全に積極的に考える水防という仕組みが必要であると思えます。



「自治体と連携した流域対策」という中にも、自治体と住民が連携をしたような感じで入れた方がいいと思えます。例えば、家をピロティー方式で建てるとか、流域貯留などを考慮した建て方など、住民の自助努力で出来ると思えます。そういう観点で、住民にも都市計画などに参画できると思えます。また、残された自然環境の保全という表現だけでなく自然の再生というものや、外来種対策は動物の外来種も大きな問題であるのでその辺も考えて入れていただきたいと思えます。

・きれいなハザードマップを作成したり、ホームページに掲載をしても、被害を最小限に食い止めることができるのか、と思えます。また、危険なところには、都市計画や都市化抑制などが、ハザードマップ作成よりも意味があり、効果的ではと思えました。

・川の周りに住んでいることは、地形的、歴史的な地域性があり、それに合わせて昔から安全を守りながら、時に災害も味わいながら暮らし、親から子へ伝えられてきたが、最近は外から移り住むなど、それが、わからなくなっています。だから、その土地にどのように住んできたのか、という話がわかるような啓蒙活動が必要ではないかと思えます。また、河川整備には限界があり“こういうふうなことやってます”以外に、“ここまで守れるが、これ以上は守れない”とかはっきり物を言う時代だと思えます。



・排水規制の強化について、企業としてこれまでいろいろ努力し、これからも水質改善に努めるつもりですが、企業との協議などを含めていただきたいと思えます。また、排水規制の強化をどのように進めるかが明らかでないので、クリアしてほしいと思えます。



・庄内川の場合、自治体との連携が非常に重要になってくると思えます。自治体と連携した流域対策の内水被害の軽減と書いてありますが、国として庄内川自体を守ることが第一義的な目的だと思うが、排水ポンプ規制をすることは内水被害がでるということで、ある程度それを受け入れることだと思えます。自治体との連携で、国がどこまで踏み込むか、というところで何か触れる必要があるのかなと思えます。

・課題の項目としてはほぼ言い尽くされており、委員長が言うように、どんな手段やプライオリティーでやっていくか、だと思えます。一つ挙げれば、生態系保全で、庄内川なので藤前干潟の積極的保全とかの項目をはっきり挙げた方がいいかなと思えます。

・河川内に残された自然環境は大変重要だと思えます。川べりとかに、渡りの時期に様々な鳥が記録されており、「あれ、こんな鳥がこういうところを通っているのか」と改めて思い知らされ、残された自然環境という意味で貴重であり、河川敷の中に生息地を残せたら良いと思えます。もう一つは、そういうところで人々が遊び、学ぶことができる場所であり、その活用も必要だと思えます。



・最近NPOに頼りがちなので、地域住民との独自のパイプを持つことが重要です。NPOを通して地域の声を吸い上げることだけに依存してほしくない。また川は、地域住民も含めて大切な財産だと思えます。利水や水防だけでなく、歴史や整備をしなければならない背景なども含め、バランスのとれた情報交流というものをは是非入れてほしいと思えます。また、子供やもっと身近な子供の手を引いて避難しなければいけない家族の姿を見ていただけるような施策を盛り込んでいただけるとありがたいと思えます。

・治水課題に「貯留・浸透機能の減少に考慮した地域開発」とありますが、同様なことが、水利用や環境保全のところでは言えると思えます。これから川の自然や環境、利水との関係など、流域環境を保全する視点が必要であると思えます。また、ハザードマップというものを通して川との関わりをみんなで学ぶ機会を作ることが重要ではないかなと思えます。



◆土岐川庄内川の現状と課題（案）

今回の流域委員会での議論による現状と課題は、次のように整理されます。

治水の課題	
<p>◆都市河川に相応しい河川整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 流域の状況にあわせた河川整備 <ul style="list-style-type: none"> 氾濫形態の違いを考慮した治水対策 整備目標の適切な設定 沿川状況を考慮した河川整備（大規模な引き堤が困難） 耐震対策 堤防整備の促進（質的安全度の向上も含めて） 河道貯留効果も考慮した河川整備 洪水の流下阻害となる横断構造物の管理及び改善 水衝・洗掘・漏水区間（重要水防箇所）の対策 	<ul style="list-style-type: none"> 自治体と連携した減災及び流域対策 <ul style="list-style-type: none"> 内水被害の軽減 都市計画との連携と積極的な問題提起 市民の積極的な理解と協力による流域対策 住民と連携して目指す減災 <ul style="list-style-type: none"> 情報伝達や水防などの減災対策 市民に利用しやすいハザードマップ 河川の安全度と限界の理解 流域圏理解 流域と一体となった防災システムの構築 <ul style="list-style-type: none"> 防災拠点 緊急河川敷道路
<p>◆新川と庄内川との関係の再構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 洗堰の位置づけ 新川流域と庄内川流域の調整 	
<p>◆貯留・浸透機能の減少に考慮した地域開発</p> <ul style="list-style-type: none"> 流域の貯留・浸透機能の維持 	
水利用と水環境から見た課題	
<p>◆水利用の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> 現状の農地利用に見合った水利用 	<ul style="list-style-type: none"> 環境に配慮した弾力的な水利用
<p>◆流域と自治体とが一体となった水環境改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 排水規制の強化と適正な運用（監視） <ul style="list-style-type: none"> 排水規制強化などさらなる水質の改善 環境基準遵守から目標達成型への転換 水質事故対策の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 下水道等の整備推進 <ul style="list-style-type: none"> 下水道の整備促進 合流式下水道の改善 おりがわ湖の水質保全 河川の持つ自浄機能の向上
<p>◆地域住民・地域企業が一体となった水環境改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境に対する意識の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 環境にやさしい生活様式への転換
河川の自然環境から見た課題	
<p>◆生態系の保全と再生</p> <ul style="list-style-type: none"> 治水との調和のとれた環境対策（環境保全） 河川内に残された自然環境の保全・再生 	<ul style="list-style-type: none"> 動植物の外来種対策 流域の生態系に寄与する河川環境の保全・再生
人との関わりの面から見た課題	
<p>◆治水上の課題（堤防）</p> <ul style="list-style-type: none"> 堤防の適正管理 <ul style="list-style-type: none"> 堤防道路を通過する大型車両による堤防の弱体化 道路付属物等による堤防の弱体化（ガードレール、標識、冠水表示板、信号機等） 堤防道路による水防活動への支障（渋滞、放置・駐車車両、ガードレールによる支障） 	<ul style="list-style-type: none"> 管理用通路の確保 占用家屋の移転
<p>◆治水上の課題（高水敷）</p> <ul style="list-style-type: none"> 高水敷の適正利用 	<ul style="list-style-type: none"> 占用施設の適正利用
<p>◆環境（利用）上の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 川へのアクセスの確保 動植物の移動阻害対策（グラウンド、取水堰等による） 	<ul style="list-style-type: none"> ホームレス対策 不法投棄対策
<p>◆地域に根ざした河川整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史、文化及び生活と密着した河川空間の創造 家族が親しむ川づくり 	